

記録と保護者連絡を、現場と経営の力にする

観察記録・保護者連絡アプリ「そだちノート」／放課後等デイサービス・児童発達支援 向け

この資料について

本資料は、社内での導入検討・稟議のための参考としてお使いいただくものです。

数値は、公的な業界資料および当社のヒアリングに基づく参考値であり、当社製品による効果を保証するものではありません。効果は事業所の運用により異なります。料金は税込・2026年7月時点。

1. なぜ「記録と保護者連絡」が、経営の課題なのか

① 記録・事務の負担が、本来の支援の時間を奪う

- 放デイ・児発では、サービス提供記録・個別支援計画・モニタリング・ヒヤリハット等、多くの帳票の作成・確認・保管が求められます。
- 手書きや Excel での記録は、入力・転記・チェックに時間がかかり、支援員の負担になりやすいことが、業界の実務解説でも共通して指摘されています。

参考：カイポケ／LITALICO 仕事ナビ等の実務解説（記録の種類と手間について）。出典は末尾。

② 人材の確保・定着がむずかしく、記録の質が属人的になりやすい

- 障害福祉分野は、人材の確保・定着が構造的な課題であり、厚生労働省・福祉医療機構（WAM）が継続的に調査・対策の対象としています。
- 記録の質や量が担当者によってばらつく・新人が不安を抱えたまま日々が過ぎる、といった属人化は、支援の質と職員の定着の両面に影響します。

参考：厚生労働省「障害福祉人材の確保・処遇改善」／WAM「障害福祉サービス等の人材確保に関する調査結果」。出典は末尾。

③ 記録は「守り」でもある（説明責任・実地指導・計画との整合）

- 記録は、個別支援計画にそった支援の実施を示す根拠であり、実地指導や保護者への説明責任の土台になります。
- つまり記録は「手間」であると同時に、事業所を守る資産でもあります。ここを軽く・確実にできることは経営に直結します。

2. そだちノートが、経営に効くしくみ

※以下は仕組み（因果の考え方）であり、効果を保証するものではありません。まず無料でお試しのうえ、ご判断ください。

記録の下書きを短時間に → 事務の時間を、本来の支援へ

- 話だけで、その日の観察記録の下書きができます。短く話しても、AI が不足を補って文章に整えます。

AI の問い返し・整え → 記録の標準化と、新人教育

- AIが観察を深める問い返しをするため、記録の視点が標準化され、担当者による差が小さくなります。
- 「普段の関わりが、5領域のどれにあたるか」に気づける設計は、職員が療育の観点を身につける教育ツールとしても働きます。

保護者への伝達導線 → 家庭との連携・保護者対応の負担軽減

- その日の様子を、やわらかい言葉で保護者へ届けられます。家庭と施設が同じ様子を見ながら、子どもの育ちを一緒に見守れます。

3. コストの考え方（参考）

料金（税込）

プラン	料金（税込）	備考
無料	0円	子ども3人・スタッフ2名まで／初期費用0円／最低利用期間なし
プロ	9,800円／拠点・月	多店舗5～9拠点8,800円／10拠点～7,800円
早期導入	4,900円／拠点・月	プロを6ヶ月間この価格。2026年10月末までの申込限定（他に条件なし）。以降は通常価格

現場のコスト実感（当社ヒアリングより・匿名）

- ・ある事業所では、記録にまつわる残業が事業所全体で月10時間程度（給与換算で約1万円）という声がありました。
 - ・別の事業所では、記録の残業が月2～3万円規模という声がありました。
- プロプラン（9,800円／拠点・月）は、こうした現場コストと同程度～下回る水準、という見方ができます。
- ※これらは各事業所の自己申告に基づく一般的な声であり、当社導入による削減の実測値ではありません。

- 無料プランで、契約を決める前に現場で試せます（初期費用0円・最低利用期間なし）。導入前のリスクは小さく抑えられます。

4. 社内でよく出るご質問

Q. 国保連請求ソフトを替える必要はありますか？

- いいえ。置き換えるものではなく、今お使いのものと併用するアドオンです。データ移行はありません。

Q. 安全性は大丈夫ですか？

- お子さまの情報は国内（東京）で暗号化保管し、AI に送る前に施設内のお子さまの氏名を記号に置き換えます（実名を外部 AI に渡しません）。音声は文字起こし後すぐ削除し、記録が見えるのはその施設の中だけです。

Q. 現場の手間は増えませんか？ PC は必要ですか？

- スマートフォンで、話すだけ・打つだけで使えます。PC は必須ではありません。まず 1 人・1 台から始められます。

Q. 最低利用期間や、多店舗の料金は？

- 最低利用期間はありません。多店舗はまとめ価格（5～9 拠点 8,800 円／10 拠点～ 7,800 円）があります。

5. 導入の進め方と、弊社の伴走

- お子さま 1 人・保護者 1 人から、無理なく始められます。最初の 7 日間で「観察 → 確認 → 保護者に届く」が一巡する進め方を用意しています。
- 導入時は、弊社スタッフがオンラインで直接お手伝いします（キックオフ 30 分+1 週間後のフォロー 30 分）。ご質問にはメールで 24 時間以内に返答します。
- 社内への導入提案・稟議資料づくりも、弊社と一緒にお手伝いします。お気軽にご相談ください。

出典・参考

・放課後等デイサービスの記録・帳票に関する実務解説：カイポケ（ads.kaipoke.biz）、LITALICO 仕事ナビ（h-navi-biz.jp）ほか。

・障害福祉分野の人材確保・定着：厚生労働省「福祉人材確保対策」、独立行政法人福祉医療機構（WAM）「障害福祉サービス等の人材確保に関する調査結果」（2023 年度ほか）。

※本資料の業界データは上記の一般的な公開情報に基づく参考であり、当社製品の効果を示すものではありません。

南方教育研究所合同会社／そだちノート <https://sodachinote.jp/>